

# I 調査の概要



## I 調査の概要

---

### I - 1 調査の概要

#### 1 調査の目的

旭川市の市政運営やまちづくりの基礎的な資料として活用するため、市政や市民生活に関する市民意識等について、広く市民を対象としたアンケート調査を実施した。

#### 2 調査項目

次の9項目、44問について実施した。

- |                     |      |
|---------------------|------|
| (1) 今住んでいる地域のことについて | (4問) |
| (2) 市政について          | (4問) |
| (3) 健康・福祉・子育てについて   | (6問) |
| (4) 教育・文化について       | (6問) |
| (5) 安全・安心について       | (6問) |
| (6) 産業・交流について       | (6問) |
| (7) 環境・都市基盤について     | (6問) |
| (8) 回答者のプロフィール について | (5問) |
| (9) まちづくりについての自由意見  | (1問) |

#### 3 調査方法

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| (1) 調査対象地域 | 旭川市全域                 |
| (2) 調査対象者  | 旭川市民のうち18歳以上の男女3,000人 |
| (3) 抽出方法   | 住民基本台帳から層化2段無作為抽出     |
| (4) 調査方法   | 調査票の郵送によるアンケート方式      |
| (5) 調査期間   | 平成26年1月31日～2月18日      |

#### 4 回収結果

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| (1) 発送数   | 3,000人             |
| (2) 有効回収数 | 1,569人             |
| (3) 回収率   | 52.3% (=有効回収数÷発送数) |
| (4) 記入不備等 | 7人                 |
| (5) 総回収数  | 1,576人             |

## 5 調査結果の表し方

- (1) 調査結果の数値は回答率(%)で示している。回答率の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、その数はNで示している。
- (2) 回答率は特に明記しない限り、原則として各設問の無回答を含む回答者総数(副設問では該当する回答者数)に対する百分率(%)で表している。
- (3) 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、回答率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (4) 複数の回答を求める設問では、回答率の合計が100.0%を超える場合がある。
- (5) 本文中では百分率を表示する場合、小数点第1位までの%で表示するが、数値を比較して大小関係を比較する場合は、「・・・ポイントの差」と表現している。
- (6) 数値表のうち「-」は回答率がゼロのものである。
- (7) 性別や年齢層ごとの調査結果は、それぞれ無回答があるので、性別等の回答件数の合計は全体と一致しない場合がある。

## 6 参照した他の調査結果

次の調査の内容を引用し、参照した。

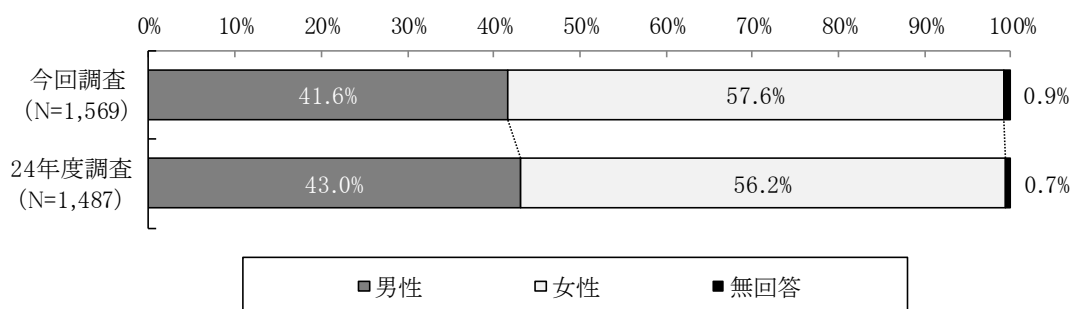
平成24年度調査:「平成24年度 旭川市民アンケート調査報告書」(平成24年5月実施)

## I-2 回答者のプロフィール

### 1 性別

回答者 1,569 人の性別をみると、「男性」が 652 人 (41.6%)、「女性」が 903 人 (57.6%)、「無回答」が 14 人 (0.9%) となっている。旭川市の人口 349,549 人 (平成 25 年 7 月末住民基本台帳人口) のうち、男性が 162,588 人 (46.5%)、女性が 186,961 人 (53.5%) となっていることから、人口の男女比率からみても女性の回答率が高くなっている。

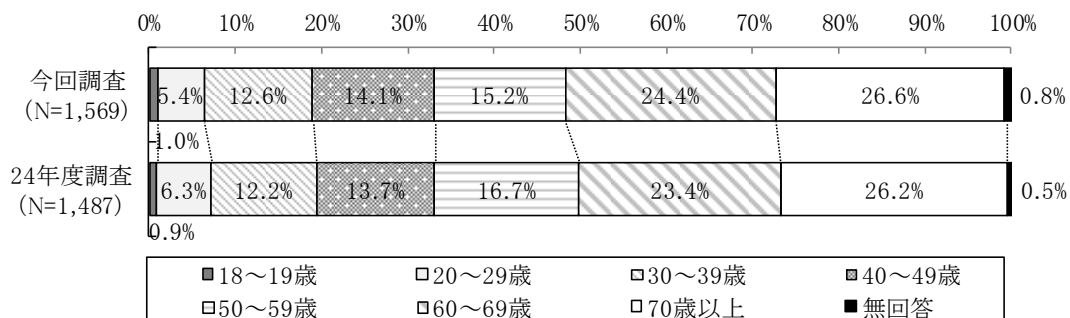
平成 24 年度調査と比較すると、女性の方が 1.4 ポイント高くなっている。



### 2 年齢階層

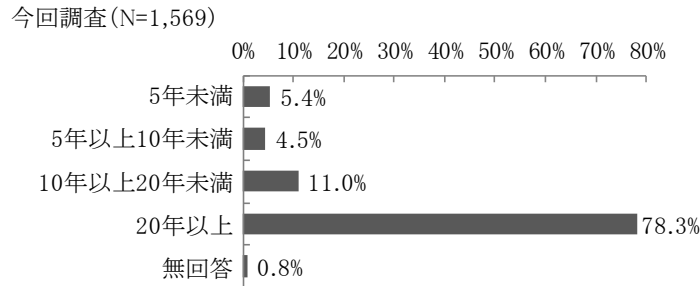
回答者を年齢層別にみると、「70 歳以上」が 26.6%と最も高く、次いで「60～69 歳」が 24.4%、「50～59 歳」が 15.2%で、50～59 歳以上で全体の 66.2%を占めている。

平成 24 年度調査と比較すると、50～59 歳の回答率が 1.5 ポイント低くなっており、60～69 歳の回答率が 1.0 ポイント高くなっている。



### 3 通算居住年数

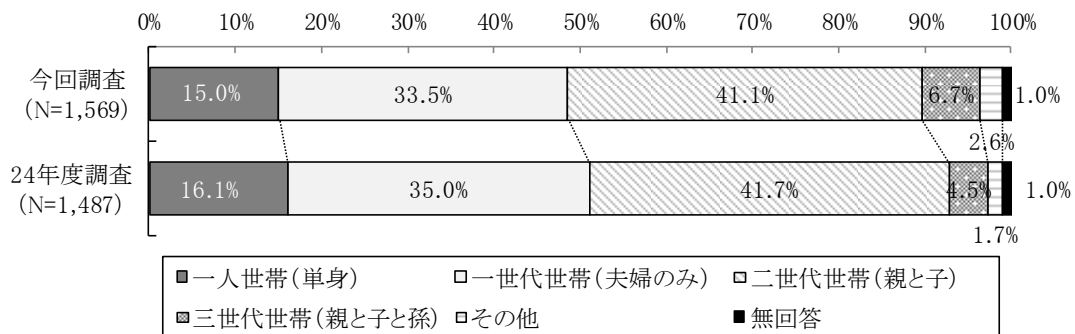
回答者の旭川市における通算居住年数は、「20年以上」が78.3%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が11.0%となっており、その他の年数は1割未満となっている。



### 4 家族構成

回答者の家族構成をみると、「二世世代世帯（親と子）」が41.1%と最も高く、次いで「一世代世帯（夫婦のみ）」の33.5%、「一人世帯（単身）」の15.0%の順となっている。

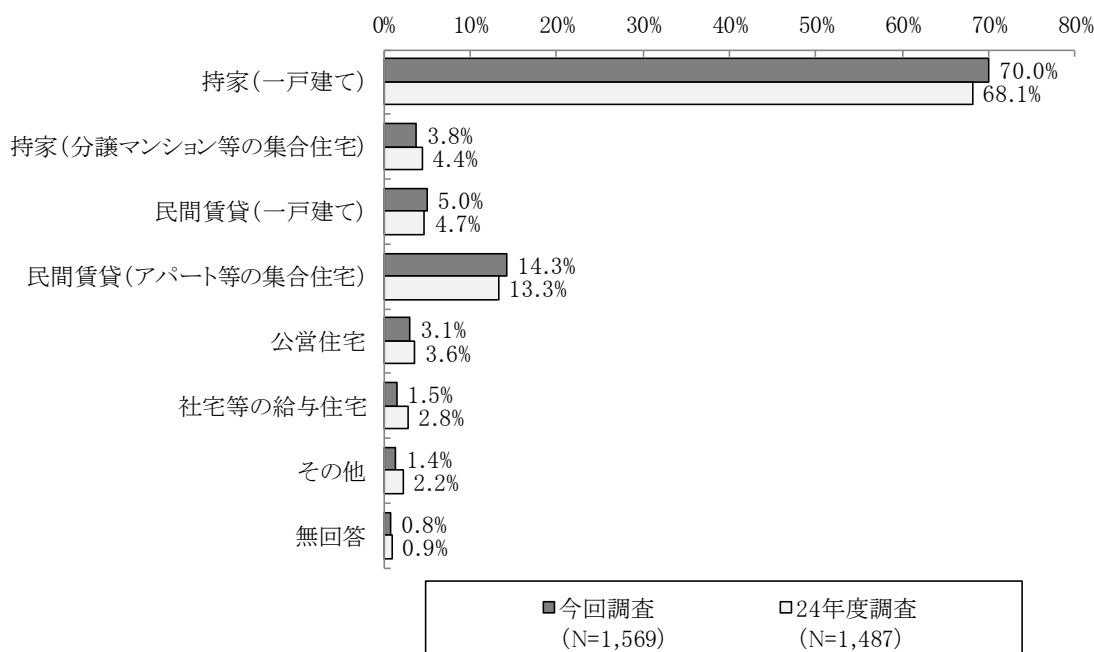
平成24年度調査と比較すると、「三世世代世帯（親と子と孫）」が2.2ポイント高くなっているのに対して、「一人世帯（単身）」が1.1ポイント、「一世代世帯（夫婦のみ）」が1.5ポイント、「二世世代世帯（親と子）」が0.6ポイント低くなっている。



## 5 住宅の種類

回答者が住んでいる住宅の種類は、「持ち家（一戸建）」が70.0%と最も高く、次いで「民間賃貸（アパート等の集合住宅）」の14.3%、「民間賃貸（一戸建）」の5.0%の順になっている。

平成24年度調査と比較しても、ほぼ同じ傾向を示している。



今回調査では、旭川市内を12地域のブロックに区分し、集計を行った。各地域への調査票配布数は、母集団数の割合に応じて決定しており、母集団は、平成26年1月1日の住民基本台帳による。回答者全体の回収率は52.3%となっており、居住地域別にみると、「神楽地域」が57.5%と最も高く、次いで「東旭川地域」が56.7%と高い回収率となっている。

地域	母集団(人)	配布数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
中央・新旭川	41,267	352	161	45.7%
東部	77,316	659	344	52.2%
北星	32,236	273	140	51.3%
未広・春光	48,356	412	222	53.9%
春光台・鷹の巣	12,185	104	57	54.8%
神居	32,973	286	150	52.4%
江丹別	338	8	4	50.0%
永山	44,192	376	191	50.8%
東旭川	14,660	134	76	56.7%
神楽	36,901	313	180	57.5%
西神楽	3,478	35	18	51.4%
東鷹栖	5,155	48	26	54.2%
合計	349,057	3,000	1,569	52.3%

地域区分は下表「平成 25 年度の地域名と対象地区市民委員会」のとおりである。

【平成 25 年度調査の地域名と対象地区市民委員会】

地域名	対象地区市民委員会
中央・新旭川	西, 中央, 大成, 新旭川, 朝日
東部	啓明, 東光, 東光南, 豊岡, 新豊岡, 愛宕, 東豊中央, 東部東光, 千代田
北星	近文東, 近文西, 川端, 北星, 旭星, 旭星西
末広・春光	春光西, 春光中央, 春光東, 末広中央, 末広, 末広東, 春光町
春光台・鷹の巣	春光台, 鷹の巣福祉村
神居	神居中央, 神居東, 台場, 神居雨紛, 西神居, 忠和
江丹別	江丹別, 嵐山
永山	永山第一, 永山第二, 永山第三, 永山南西, 永山南
東旭川	旭正, 東旭川中央, 日の出・倉沼, 豊田, 桜岡, 米原・瑞穂
神楽	旭神, 神楽本町, 神楽宮前, 高野, 神楽岡, 神楽岡東, 緑が丘, 西御料地, 緑が丘東
西神楽	西神楽地区瑞穂, 西神楽地区中央, 西神楽地区聖和, 西神楽地区千代ヶ岡
東鷹栖	東鷹栖中央, 東鷹栖東, 東鷹栖西, 東鷹栖北

【地域区分図】

